

DIOCESE OF SAITAMA

TOKIWA 6-4-12, Urawa-ku,
SAITAMA city
〒330-0061, JAPAN
TEL: 048-831-3150
FAX: 048-824-3532



カトリックさいたま教区

さいたま市浦和区
常盤 6-4-12
〒330-0061
TEL: 048-831-3150

つうじょうせいねん ことし
「通常聖年」の今年、

すべてのいのちのいま みらい きょうい
今と未来への脅威が

いっこう せかい なか
一向にやまない世界の中にあるからこそ、

たが ゆる かみ あざむ きぼう むね
互いに赦しあい、神からの「欺かない希望」を胸に、

あゆ つづ
ともに歩み続けられますように

しんあい きょうく きょうだいしまい みな
親愛なるさいたま教区の兄弟姉妹の皆さん

あ
明けましておめでとうございます

ことし ねん ぜんせかい きょうかい つうじょうせいねん す せいねん
今年、2025年、全世界のカトリック教会は「通常聖年」を過ごします。「聖年」の
きげん きょうやくじだい ねん くる かいほう
起源は旧約時代のイスラエルで50年ごとに、苦しみの「くびき」から解放された「ヨベ
ル年」にあります。人々は50年ごとに、生きていく「希望」の恵みを主なる神からいた
だいていました。私たちも、25年ごとに訪れる「通常聖年」を迎えるに当たり、さい
たま教区として、12月29日に浦和教会で開幕のミサを祝い、祈りました。世界中の
きょうだいしまい あゆ せい ねん わたし あい ち いま ちい ひつじ
兄弟姉妹とともに歩む聖なる1年、私たちがこの愛する地にあっては未だなお小さな羊
の群れではありますが、イエスが告げられた希望のことば、「福音」を人々に伝え証し
し、きぼう つい せかい なか いま きぼう も ひとびと
希望が潰えそうな世界の中にある今だからこそ希望を持って、人々とともに生きると
いう とうと しめい かみ たく
尊い使命を神から託されているのではないのでしょうか。

せい ねん い かんが とき きょうこう わたし
この聖なる1年をどのように生きたらよいかと考える時、教皇フランシスコが私
あ おく だいちよくしよ きぼう あざむ おお たす きぼう あざむ
宛てに送ってくださった大勅書「希望は欺かない」は大きな助けです。「希望は欺かな
い」は、パウロの言葉です（ローマ5：5）。是非その全文をお読みいただきたいのです

が、その一助に、皆さんとともに大切にできたらとわたくしと思う点を少しだけ取り上げて考えてみたいと思います。教皇フランシスコが「私たちがまずすべきこと」として、呼びかけ勧めておられるのは「希望を最も必要としている人々の存在に気づくこと」です。私たちのすぐ傍には病に苦しんでいる人、障害などのため大きな不自由を余儀なくされている人、未来に夢を持たない若者、最低限の生活すら困難な貧しさの中にある人、孤独な境遇に取り残された人、止む無く母国を離れ慣れない異国で暮らす人、さらには、予期せぬ自然災害に遭遇し必死に立ち上がろうとしている人たち等々、「希望」なしでは生きていけない人たちのなんと多いことでしょう。かつて苦しみや悲しみの中にあつたとき、そっとイエスに助けていただいたことのある私たちですから、歩みを緩め、あるいは立ちどまり、身を屈めれば、その人たちとともにおられるイエスに気づくことができるでしょう。この聖年をきっかけに、あなたの小教区でもその気づきの恵みに励まされて、司祭、信徒皆さんで力を合わせて、希望を必要としている方々と関わることを始めて下さったら、こんな嬉しいことはありません。そうすればイエスを通していただく神のいつくしみのプレゼントである希望と一緒に見だし、今こそ必要な「平和への希望」を胸に、今教会に最も必要な「ともに歩むこと」が可能になるのではないのでしょうか。この気づきこそがすべてのことの始まりだと教皇は訴えておられます。是非「大勅書」を兄弟姉妹の皆さんと読んで、聖霊の導きと励ましをお受けいただければと願っています。

「巡礼教会」への旅を小教区の皆さんとともになされれば、その絶好の機会になるでしょう。そして聖年の恵みであり、神の無限の憐みのしるしである「免償」にもあずかっただきさればと願っています。

皆さんもわたくしも共に歩めるように、新年の祝福を送ります。主がすべての皆さんを祝福し、守り、必要な恵みを豊かに与えてくださいますように。

父と子と聖霊のみ名によって。アーメン。

2025年元旦 神の母聖マリアの祭日

カトリックさいたま教区

司教 マリオ 山野内 倫昭